

Elysion シフトインジケータ インストールマニュアル

RR - 3, 4 用 (V6 3.0) 120型

「シフトインジケータ」をご用命頂きまして、ありがとうございます。
シロートの拙い工作物ですが、その辺りは笑って許してくださいませ。
楽しいカーDIYの一つとして、お楽しみ頂けると幸いです。

2007 / 1 M相良

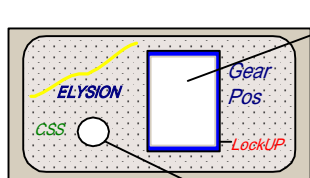
取り付け時の注意

1. 電装系のDIYは誤配線があると、最悪出火等の可能性が有ります。
説明を良く読んで、トラブルの無いようにお気をつけ下さい。
 2. エアバックが標準装備されている為
センサーが生きている間に、不要なショックを与えると、エアバックが作動したり
非常に危険を伴います。

必ず BATTのマイナス端子を外し。 3分以上待ってから作業して下さい。
 3. ご自分での取り付けに自信がない場合、有る程度のスキルをお持ちの方と
一緒の作業をお勧めします。
 4. 個人的にお分けする物です。 製品保証等、一般の製品に有する保証関係は、
いっさいありません。 その分、お安いと言うことで ご理解下さい。

誤接続以外の問題で、本体の初期動作不良が認められた場合のみ
交換をいたしますので、ご連絡下さい。
 5. ディーラー、カー用品店等への取り付け依頼は、おそらく断られると思います。(爆)
- 上記を怠ったため、発生した 問題・事故 等につきましては、作業される方の
責任の範囲内とさせていただきます。
その点の保証等はいっさいいたしかねます。ご了承下さい。

「 シフトポジション表示部 」



数字で 1 - 5 が表示されます
ATが P、N、R 以外の時表示されます
また、表示の右下の ・ はロックアップ中
の表示です。

「 気筒休止インジケータ部 (V6 3.0L) 」

緑のLEDが点灯時は気筒休止中です。
車両のECOランプは気筒休止中を示す物ではありません。
気筒休止中は 1.5Lで走行することになり、燃料消費も
押さえられます。

内容の確認

1. ユニット本体。
黒(または白)のプラケースに基板が収納されています。
赤・黒・白・緑・黄・青・橙・茶 の8本の線が出ています。
中間に中継コネクタが付いています。
赤のコードにヒューズが付いています。 1Aです。
2. インジケータ部
黒のプラケースに、LEDが組み込まれています。
1 - 2は シールド線で接続されています。
3. ワンタッチカプラ 6個

別途必要な物

1. 電源取り出しケーブル 1本
電源取り出しを、ヒューズBOXから行う場合
電源取り出しKITが必要です。
用品店等で、ヒューズBOX電源取り出しケーブルを購入します。
(10A用)
ヒューズBOX内 No.19(IGN)から取り出します。
他にIGN + 12Vを取り出す箇所をお持ちの場合、そちらに
準じた物を使用して下さい。

必要な工具

1. プラスドライバー
・フロントロアパネルを外すために使用
2. プライヤー
ワンタッチコネクタの取り付けに使用
3. 10mmソケットレンチ等
アースを取り付けるために使用

取り付け手順

1. インジケータ部の取り付け

- (1) センターロアカバーを一部外し
インジケータのコードをカバー内に通します。
- (2) インジケータを好みの位置に張り付けます。
- (3) ロアカバーを元に戻します

2. ECUとメインユニットの接続

- (1) センターコンソール下部パネル(左右)を外します
- (2) メインユニットの信号線(6本)を ECUのカプラにワンタッチコネクタを使用して、接続します。

3. 電源の取得

- (1) IGN+12Vを接続します
- (2) ボディーアースを接続します

1. インジケータ表示部の取り付け



インパネのロアパネルカバーを外します。

めくら蓋を開け、ビスを1本外す



パネルのサイドを引っ張り、浮かせます。



ハンドル下の隙間にコントローラを押し込み、
表示部のコードのみハンドル下を通します。



表示部のコードをハンドル横に通します。



表示部は、好みの位置に両面テープ等で貼り付けて下さい。



センターコンソール下部右カバーを外します。
オプションのコンソール付き車も同様です。



センターコンソール下部 左パネルを外し、ECUを確認します。



手前側(ナビ本体側)のコブラから順に、全てのコブラを引き抜きます。

コブラ上部のツメを押し込みながら引き抜きますが、かなり硬いため、少しずつひねりつつ引き抜いて下さい。

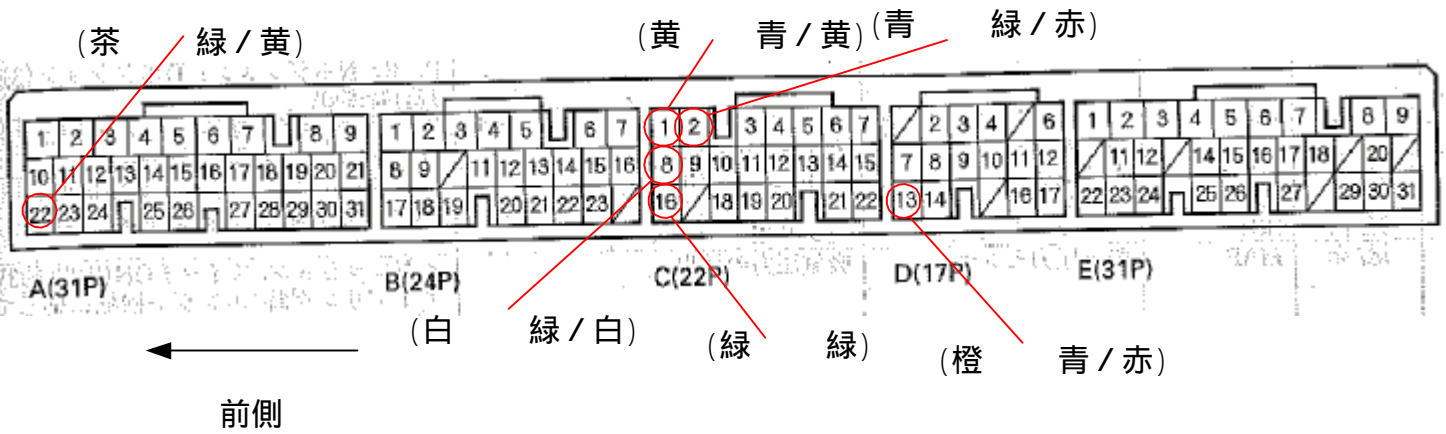
作業時、キーONに成っていないことを確認



指定コブラの配線に、指定線色の線を割り込ませます。

次ページの接続図を参照

コネクタのコード側から見た図



(1) Aカプラに接続

・ユニットの茶 を A - 22 (ハーネス色 緑 / 黄)

(2) Cカプラに接続

- ・ユニットの黄 を C - 1 (ハーネス色 青 / 黄)
- ・ユニットの青 を C - 2 (ハーネス色 緑 / 赤)
- ・ユニットの白 を C - 8 (ハーネス色 緑 / 白)
- ・ユニットの緑 を C - 16 (ハーネス色 緑)

(3) Dカプラに接続

・ユニットの橙 を D - 13 (ハーネス色 青 / 赤)

ユニットの配線を、ECUのカプラのハーネスに接続します。

このとき、ワンタッチカプラを使用します。

ハーネスは、黒いテープ等で巻いてあるので、少し剥がした方が、取り付けしやすいです。

ここの接触不良、配線間違いがあると、正しく表示が出ません。(要注意)

- - - 重要な注意 - - -

保護テープを剥がす時、カプラで割り込ませる時、十分注意してください。

いい加減な作業で、ECUのハーネスを切断したり、破損したりすると、最悪の状況になります。

この点がきちんと出来ないおそれが有る場合、取り付け自体をあきらめてください。

このトラブルを含め、問題が発生しても、責任は取れません。

この点だけは、ご了承下さい。



ワンタッチカブラの使用例



ワンタッチカブラの使用法

・ワンタッチカブラは、配線の割り込みに使用します。

1. 溝が左右に切っただけの方に、元の配線をかませます
2. プライヤーで、片側をかしめます。
3. 割り込ませる配線をもう一方にかませます。
4. しっかり、かしめて 完了。

黄色の配線が、ECUのハーネス
青の配線が ユニットの配線
に相当します。

非常に手を入れずらい、狭いところでの作業になりますが
コードを斜めに挟んでしまったり、プライヤーで挟んで
しまったりなど、十分 注意しましょう。

ここで、元のハーネスを切断等してしまうと
走行不能になるおそれもあります。
十分、注意してください。



電源は、ヒューズBOXから、取り出しケーブルを使用するのが一番簡単です。

ヒューズ取り出しKITはホームセンターや用品店で入手できます。

10A用を使用します。

ヒューズ部が大きい物と小さい物が有ります小さい方ですので間違えないようにして下さい



ヒューズカバーを外し、No.19へ差し込みます。No.19は、予備用の為、元々開いています。ユニットからの赤線を接続します。



ハンドルポストカバーを剥がすとアースポイントが有りますので、ユニットからの黒線を取り付けます。

黒線、赤線をカーペット裏に通します。

線は露出させると、アクセルやブレーキに絡んで大変危険です、必ずカーペット下へ通して下さい。



ユニットを、パネル等に干渉しない位置を見つけて格納します。

この位置か、もしくは さらに下の奥に入れることが出来そうです。



取り付けと逆の順序でパネルを戻していきます。

これで、取り付けは完了！
あとは、動作確認だけです。

「動作チェック」

1. エンジンを始動。
Pレンジの場合、表示は有りません。
2. Dレンジでは 1、2・1のそれぞれで 1, 2 の表示が出るか確認します。
表示されない場合、電源の取り方に問題がないか確認します。
3. Dレンジで走行し、変速に合わせて表示が変われば 接続はOKです。
表示が変な場合、まず ECUへの接続が正しいか確認してください。
4. 気筒休止状態に入ると、緑のLEDが点灯します
アクセルワークで、気筒休止状態に早く入れたりすることが出来ます。
工夫してみてください。
5. 数字の右下の . は ロックアップ中の表示です。
ロックアップとは ATのトルクコンバータを直結することで、巡航時などでの駆動のロスなどを減らす目的が有ります。
燃費の向上や、ドライバビリティ(加速時、減速時のダイレクト感)の向上が計れます
ロックアップは水温が低い場合は働きません。
6. 変速時 一時的に表示が出ないことがあります。

ちょうどMT車での半クラ状態と思ってください、ギアがつながると表示が出ます。

ユニットは、出荷前に動作チェックを行っています。
もし、動作がおかしい場合、まず 正しく接続されているかを、十分確認願います。

「 動作チェック 」

1. 全く表示しない

LEDもシフトポジションも表示されない

- ・IGNへの接続は正しいですか
- ・GNDの接続は正しいですか
特に、GNDの接続不良は原因になりやすいです。
- ・ユニットの赤線に黒いヒューズBOXが付いています
ねじると、1Aのヒューズが入っています。
切れている場合、入れ替えてください。
再度切れてしまう場合、配線の確認をしてください

2. 緑が点灯しない

ECOランプ点灯、巡航状態でも、緑LEDが点灯しない。(3.0)

- ・水温が低い場合 VTECは作動しません、しばらく走って確認します。
- ・茶色線の接続を確認します

3. 変速の表示がおかしい

変速に併せて 正しく表示されていない。

- ・黄、白、緑 線の接続を確認します

4. 変速の表示がおかしい

変速に併せて 全く表示されていない。

- ・黄、白、緑、橙 線の接続を確認します

5. ロックアップの表示が出ない

水温が上がってもロックアップ表示されていない。

- ・青 線の接続を確認します

次の状況は正常です。

- ・走行後、停車時に 2速の表示が出ている(ただし、走り出せば1速になる)
- ・Pレンジ、Rレンジ、Nレンジ で一瞬 2,3の表示が出る
- ・減速時 4から 3に表示が変わった (プロスマティックの機能でシフトダウンしてます)

''' **すべて確認しても おかしい場合** '''

- ・白のカブラから外して、ユニットを送付して頂下さい、確認をいたします。

''' **万一、走行に支障が出た場合** '''

カブラを外してください、ユニットは完全に切り離されます。
それでもおかしい場合、ECUへの割り込み配線時のトラブルがあり得ますが、
その場合、問題は深刻です。ディーラー等で ECU周りのチェックが必要です。

このユニットから ECUに対して 出力はしていません。
電圧のモニタをしているだけです。接続により ECUに負荷が掛かりトラブルを起こすことは有りません。

ただし、厳密に言うと メーカーによる保証外の用品取り付けと言えるので、その点だけはご了承ください。